

令和7年度 学校関係者評価報告書（まとめ用）

学校番号	12	学校名	静岡県立三島北高等学校	記載者	勝間田 浩文
------	----	-----	-------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的生活習慣の確立と心身の健康の保持・増進、豊かな人間性の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守るように心がけている生徒 95%以上※ ・整美委員会による環境美化週間の実施 各学期1回 ・生徒による挨拶や服装に関する生活キャンペーンの実施 各学期1回 ・挨拶をしっかりとやるよう心掛けている生徒 90%以上※ ・保健だよりの発行 月1回 ・体調が心配な生徒に関する担任と養護教諭の情報共有 100% ・信頼できる先生がいる生徒 90%以上※ ・部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる生徒 95%以上※ ・図書年間貸出数（4～12月集計） 2000冊以上 ・朝読書の意義を理解し積極的に取り組んでいる生徒 90%以上※ ・生徒の満足度 90%以上※ 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣がしっかり身につけている生徒が多いと感じる。 ・学校内に限らず、家庭や地域コミュニティにおいても挨拶を大切にするよう、生徒および保護者へ働きかけていきたい。 ・挨拶、服装、時間を守るということは社会人においても基本中の基本と考え、これにより見えないところも見えるようになり、生徒との信頼関係に大きくかかわると考える。また、生徒から先生を見るにおいても同様のことであり、相互の信頼の構築に大きく寄与する。日頃のコミュニケーションが大切であると考えている。 ・三島北高校では電子媒体による読書や聞く読書はどのようにとらえているのか。実態を伺えるとありがたい。 ・学校図書館も校内貸出箇所を増やす等さまざまな工夫をしていて、その成果が数値で出ているのは素晴らしい。
イ	確かな学力と幅広い教養の育成に資する学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を深める工夫をしている授業 90%以上※ ・主体的な活動や生徒同士の対話がある授業 90%以上※ ・1年:家庭学習時間平日平均90分以上の生徒 70%以上※ 2年:学校、塾等の与えられた課題以外で、自ら学習に取り組んだ生徒 70%以上※ 3年:学校、塾等の与えられた課題以外で、自ら学習に取り組んだ生徒 90%以上※ ・校内研修の実施 年3回以上（「学びの基礎診断」の結果分析を含む） ・授業参観を年2回実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業については、生徒が理解しやすく、興味を持てるよう工夫されている点に敬意を表す。家庭学習については、近年の環境や生活様式の変化を踏まえ、より広い概念として捉えていくことが適切であると考えている。 ・将来の夢や目標をもつことが主体的な学びにつながるのではないかと。大学入試もその一つだと思ふ。 ・生徒が自主的に学習へ取り組み始める時期については、紫苑祭後の6月半ば頃から本格化する傾向が見られる。一方で、いわゆるトップ校では1年次から受験を意識した学習が進むことも踏まえると、北高ならではの良い面でも

					<p>あると感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホの影響などで、家庭における学習時間の確保が難しくなっている。課題を課すことのみならず、家庭での電波遮断ポーチ使用の奨励など、ライフスタイルの変化に応じた手立てを考える時期にきているのではないかと考える。 ・何かを身につけるということは経験と体験の反復であると考え。学力の伸長であったり社会経験を積むことであったり、学校としてどのような目標とカリキュラムを組むのかが大切なのではないかと考える。
ウ	<p>高い志と自立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に対する明確な夢や目標を持っている3年生 70%以上※ ・学校は適切に進路情報を提供していると思う生徒 80%以上※ ・進路実現に向けて努力している生徒 70%以上※ 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・A評価にするには各項目で80%以上欲しい。 ・土曜講座については、特に参加率が低い2年生に対し、外部講師（有名学習塾や予備校の講師等）の活用を検討することも有効であると考え。 ・土曜講座の実施形態に関しては、検討の余地がある。 ・やがて巣立って社会に出ていく生徒に対し、不安を除き夢の膨らむ目標を見つけさせることが大切ではないか。達成状況の数字が少し低い。
エ	<p>課題発見・解決力、論理的思考力・規範的判断力、国際感覚等を備えた人材を育成するための探究的な学び・協働的な学びの深化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が論理的思考力等を高めることにつながっていると答える生徒 90%以上※ ・英語力や国際性が高まったと考える保護者の割合 70%以上※ ・地区協議会および合同研修会参加者の満足度 70%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活でどのように生かされるのか、学ぶことの意義を生徒が実感できる場面が大切だと思う。 ・ディベートやエッセイ形式の導入など、工夫されていることに敬意を表す。 ・英語力や国際性を高めるための諸取組や行事等を、新聞等でもっと地域や中学校にPRしても良い。 ・思考ツールの一層の活用に期待したい。 ・自ら感じ課題を見つけ、解決を考えるということは大切なことである。そのような場所を学校側として提供するべきではないか。
オ	<p>家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加する行事の実施 年5回以上 ・入学させて良かったと答える保護者 80%以上※ ・一日体験入学の参加中学生 1000人以上 ・情報発信に熱心であると答える保護者 70%以上※ ・地域や社会の課題に対する 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事や奉仕活動への参画は、市役所との連携を強めても良いのでは。（はぴボラみしまなど） ・先生方が課題として認識している事項については、委員が事前に検討を行ったうえで、学校運営協議会において具体的に議論・検討する機会を設けることも有意義であると考え。先生方には、遠慮なく課題をお寄せいただき

様式第5号

		<p>意識が高まった生徒 60%以上※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を実施する部活動 80%以上 ・年3回の協議会開催 			<p>たい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍できる生徒の育成を引き続きお願いしたい。 ・地域と学校が連携し、寄り添いながら活動している点は大変素晴らしいと感じる。 ・探究学習活動や三島サンバなどの地域行事への参加もあり、地域とのつながりを実感できる活動を今後も継続してほしい。 ・見受ける限り、日ごろの生徒の生活は明るさがあり、伸び伸びとしているように感じる。
カ	<p>安全・安心な学校につながる学習環境の整備・充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケート 年3回実施 ・体罰に関する指導案件なし ・SNS 関連トラブル数 前年比減 ・安全対策がしっかりできていると答える保護者 70%以上※ ・交通事故件数 前年比減 ・AED 講習会等の実施 ・ニーズに即した予算の執行 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の事前把握は困難であると考え。万が一、兆候を把握した場合や相談があった場合に迅速かつ適切に対応できるよう、日頃から体制や準備を整えておいていただきたい。 ・交通安全、特に自転車の安全運転については、教育を徹底して欲しい。警察に定期的に講演をしてもらうのも良い。 ・SNS 上の見えない案件を見つけることは本当に難しいことだと思う。 ・生徒自身の安全に対する意識を高めることが大切だと思う。 ・現状とくに問題があるとは思えない。 ・安心・安全な環境には、猛暑が年々厳しくなる夏季への対応も含まれる。 ・県教委は、子どもたちの命を守るためにも、公立学校の空調施設の修繕・更新を最優先事項と捉えて取り組むべき。 ・平素における通学や、日常生活の中で生徒が事件、事故に巻き込まれることがないことがないことを切に願う。
キ	<p>コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不祥事なし ・監査における指摘事項なし ・時間外勤務時間の減少 ・夏季休暇取得率 100% 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方のモチベーションを維持しつつ、時間外勤務の削減につながるよう、引き続き工夫を重ねていただきたい。また、そのために保護者や地域住民など外部に協力を依頼できることがあれば、遠慮なくお知らせいただきたい。 ・業務改善とともに教職員の意識改革が重要だと思われる。 ・時間外勤務の問題は難しい面があると感じる。特に、部活動など先生方が意欲をもって取り組んでいる業務については、ある程度柔軟に考えてもよいのではないかと思う。

様式第5号

				<ul style="list-style-type: none">・時間外の縮減も限界に近いのではないかと。むしろ今後は過度に時間外縮減に取り組むことによる教職員のストレス発生にも留意すべき。・先生方の勤務時間内外において大変御苦勞されている事と感じている。授業も大切だが、先生方の日常も見て、生徒は育つと思われる。
--	--	--	--	--